



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 S Dエンターテインメント株式会社 上場取引所 東
コード番号 4650 URL <https://sdentertainment.jp>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 高橋 誠
問合せ先責任者 （役職名） 経営企画部長 （氏名） 谷口 正諭 TEL 011-860-2525
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	2,310	21.8	△76	ー	△91	ー	△66	ー
2025年3月期中間期	1,896	4.6	15	△11.4	△3	ー	△22	ー

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △64百万円（－％） 2025年3月期中間期 △24百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△7.38	ー
2025年3月期中間期	△2.50	ー

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	4,183	1,520	36.3	169.85
2025年3月期	4,207	1,584	37.7	177.00

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 1,520百万円 2025年3月期 1,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2026年3月期	ー	0.00			
2026年3月期（予想）			ー	ー	ー

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	19.0	80	△18.5	40	△34.0	210	123.8	23.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	8,997,000株	2025年3月期	8,997,000株
2026年3月期中間期	42,989株	2025年3月期	42,989株
2026年3月期中間期	8,954,011株	2025年3月期中間期	8,954,012株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、設備投資の一部回復や物価上昇の鈍化による消費の下支えなどにより、緩やかな回復基調を維持した一方で、米国の関税政策による輸出の減少や企業収益の悪化、労働力不足などの影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは主力であるウェルネス事業において、成長が著しい領域への取り組みを継続し積極的な投資に加え、事業の成長に伴う従業員教育も積極的に力を入れております。

フィットネスではマシンピラティススタジオの出店を2店舗実施し、保育・介護等では就労支援B型事業所の出店を14事業所実施しました。これらの投資は、事業成長に向けた戦略的投資であり、当中間期においては一時的な損失が発生しているものの、事業計画との乖離は軽微であると認識しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は23億10百万円（前年同期比21.8%増）、売上総利益は21億23百万円（前年同期比18.0%増）、営業損失は76百万円（前年同期は営業利益15百万円）、経常損失は91百万円（前年同期は経常損失3百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は66百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失22百万円）となりました。

当中間連結会計期間における売上高をセグメント別に示すと次のとおりであります。

＜事業部門売上高＞

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	前年同期比 (%)
ウェルネス事業 (千円)	1,955,824	114.5
(フィットネス)	435,382	98.8
(保育・介護等)	1,520,442	120.0
クリエイション事業 (千円)	25,193	67.7
不動産賃貸事業 (千円)	84,041	101.2
その他 (千円)	245,070	361.7
合計 (千円)	2,310,128	121.8

(注) 1. ウェルネス事業は、フィットネス部門、保育部門、介護部門等の売上高であります。

2. クリエーション事業は、オンラインクレーンゲーム部門の売上高であります。

3. 不動産賃貸事業は、不動産賃貸部門の売上高であります。

4. その他は、コールセンター部門、カウネット代理店部門等の売上高であります。

(ウェルネス事業)

フィットネスは、集客好調の「スターピラティス」を中心に収益回復施策を講じており、新たに札幌市と福岡市に出店、S Dフィットネス24富士伝法店でリニューアルを行い売上の改善に注力しましたが、前年9月に閉店した総合型ジムの影響もあり、売上高は前年同期比98.8%となりました。

保育・介護等は、前年度に出店した就労支援B型事業所が順調に稼働率を上げている中で、引き続き事業所の拡充も進めており、北海道、神奈川県、埼玉県を中心に14事業所を出店いたしました。また、「カメラアキッズ」の新プログラム導入によるサービス向上もあり、保育・介護等の売上高は前年同期比120.0%となりました。

以上の結果、ウェルネス事業セグメント全体の売上高は19億55百万円（前年同期比114.5%）となりました。

(クリエイション事業)

オンラインクレーンゲームは、定期的なイベントを開催し一定の効果は維持しているものの、前年度を上回る効果が見られず、売上高は25百万円（前年同期比67.7%）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸は、リーシング活動を強化しテナント誘致に努め、特定物件における空きスペースに期間限定の催事出店を獲得し、売上高は84百万円（前年同期比101.2%）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社子会社が運営するコールセンター事業やカウネット代理店事業、E C事業等となり、売上高は2億45百万円（前年同期比361.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は12億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億28百万円減少しました。これは主に商品が75百万円増加し、売掛金が25百万円、仮払金が1億47百万円減少したことによるものであります。固定資産は29億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5百万円増加しました。これは主に有形固定資産が65百万円、差入保証金が16百万円、繰延税金資産が17百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は41億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は20億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円増加しました。これは主に買掛金が76百万円、短期借入金が60百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が68百万円減少したことによるものであります。固定負債は6億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少しました。これは主に資産除去債務が25百万円増加し、長期借入金が40百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は26億63百万円となり前連結会計年度末に比べ40百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は15億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する中間純損失を66百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は36.3%（前連結会計年度末は37.7%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ10百万円増加し、4億96百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億11百万円（前年同期は1億68百万円の増加）となりました。これは主に、減価償却費が1億6百万円、棚卸資産の増加額が78百万円、その他資産の減少額が1億54百万円、補助金の受取額が45百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億40百万円（前年同期は74百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が1億28百万円、差入保証金の差入による支出が17百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、61百万円（前年同期は3億7百万円の減少）となりました。これは主に短期借入れによる収入が60百万円、長期借入金の返済による支出が1億9百万円、社債の償還による支出が4百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月15日付「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	486,637	496,785
売掛金	305,430	279,518
商品	110,475	185,827
貯蔵品	10,001	12,766
その他	451,823	260,481
貸倒引当金	△1,184	△1,030
流動資産合計	1,363,184	1,234,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,187,609	1,235,114
土地	1,117,148	1,117,148
その他(純額)	100,090	118,244
有形固定資産合計	2,404,848	2,470,508
無形固定資産		
のれん	87,095	80,963
その他	15,157	12,296
無形固定資産合計	102,252	93,259
投資その他の資産		
差入保証金	277,887	294,393
繰延税金資産	13,186	30,620
その他	45,758	60,809
投資その他の資産合計	336,832	385,823
固定資産合計	2,843,932	2,949,591
繰延資産	186	21
資産合計	4,207,304	4,183,962
負債の部		
流動負債		
買掛金	125,858	202,551
短期借入金	1,200,000	1,260,000
1年内償還予定の社債	11,200	6,300
1年内返済予定の長期借入金	190,298	122,282
未払法人税等	46,602	10,278
賞与引当金	49,037	48,240
株主優待引当金	17,000	17,000
その他	363,670	386,563
流動負債合計	2,003,667	2,053,215
固定負債		
長期借入金	467,075	426,089
繰延税金負債	13,003	15,010
資産除去債務	91,521	117,138
その他	47,179	51,709
固定負債合計	618,779	609,947
負債合計	2,622,447	2,663,162

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	808,245	808,245
利益剰余金	674,382	608,269
自己株式	△9,684	△9,684
株主資本合計	1,572,944	1,506,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,913	13,967
その他の包括利益累計額合計	11,913	13,967
純資産合計	1,584,857	1,520,799
負債純資産合計	4,207,304	4,183,962

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,896,400	2,310,128
売上原価	96,811	186,731
売上総利益	1,799,589	2,123,397
販売費及び一般管理費		
給料	738,751	850,617
賞与引当金繰入額	8,853	43,581
退職給付費用	4,393	4,710
株主優待引当金繰入額	8,814	7,075
地代家賃	228,182	259,878
その他	795,281	1,033,669
販売費及び一般管理費合計	1,784,276	2,199,533
営業利益又は営業損失(△)	15,312	△76,135
営業外収益		
受取利息	96	411
受取配当金	15	15
受取保険金	478	2,175
その他	1,174	950
営業外収益合計	1,765	3,552
営業外費用		
支払利息	18,583	17,747
その他	2,009	1,007
営業外費用合計	20,593	18,755
経常損失(△)	△3,514	△91,339
特別利益		
固定資産売却益	—	22
補助金収入	4,011	19,771
特別利益合計	4,011	19,794
特別損失		
固定資産売却損	254	—
固定資産除却損	1,983	736
店舗閉鎖損失引当金繰入額	3,484	—
特別損失合計	5,721	736
税金等調整前中間純損失(△)	△5,224	△72,282
法人税、住民税及び事業税	19,596	10,334
法人税等調整額	△2,467	△16,504
法人税等合計	17,128	△6,169
中間純損失(△)	△22,353	△66,112
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△22,353	△66,112

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△22,353	△66,112
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,972	2,054
その他の包括利益合計	△1,972	2,054
中間包括利益	△24,325	△64,058
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△24,325	△64,058
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△5,224	△72,282
減価償却費	93,702	106,778
のれん償却額	5,323	6,131
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	3,484	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	△153
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,341	△797
受取利息及び受取配当金	△112	△426
支払利息及び保証料	18,583	17,747
社債発行費償却	513	165
固定資産除却損	1,983	736
固定資産売却損益(△は益)	254	△22
補助金収入	△4,011	△19,771
売上債権の増減額(△は増加)	63,265	25,912
棚卸資産の増減額(△は増加)	△60,592	△78,117
未収消費税等の増減額(△は増加)	5,294	△8,328
その他の資産の増減額(△は増加)	139,359	154,356
仕入債務の増減額(△は減少)	15,188	76,693
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,060	△13,271
未払金の増減額(△は減少)	△58,451	△4,144
その他の負債の増減額(△は減少)	△5,711	35,288
小計	207,117	226,494
利息及び配当金の受取額	63	396
利息及び保証料の支払額	△17,416	△14,453
補助金の受取額	4,898	45,906
法人税等の支払額	△42,139	△46,658
法人税等の還付額	15,691	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,214	211,685
投資活動によるキャッシュ・フロー		
長期貸付金の回収による収入	4,500	4,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△5,934	—
出資金の回収による収入	—	30
投資有価証券の取得による支出	—	△10,175
有形固定資産の取得による支出	△51,684	△128,418
有形固定資産の売却による収入	—	22
無形固定資産の取得による支出	△600	—
差入保証金の差入による支出	△14,988	△17,332
差入保証金の回収による収入	97	22,666
長期前払費用の取得による支出	△5,531	△11,398
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,141	△140,106

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	60,000
短期借入金の返済による支出	△260,000	—
長期借入れによる収入	110,000	—
長期借入金の返済による支出	△127,206	△109,002
社債の償還による支出	△22,900	△4,900
自己株式の取得による支出	△0	—
長期未払金の返済による支出	—	△1,034
リース債務の返済による支出	△7,864	△6,494
財務活動によるキャッシュ・フロー	△307,971	△61,431
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△213,898	10,147
現金及び現金同等物の期首残高	858,375	486,637
現金及び現金同等物の中間期末残高	644,477	496,785

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結損益計 算書計上額 (注)3
	ウェルネス 事業	クリエイシ ョン事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高								
外部顧客へ の売上高	1,708,381	37,210	83,048	1,828,640	67,760	1,896,400	—	1,896,400
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	—	—	—	—	124,574	124,574	△124,574	—
計	1,708,381	37,210	83,048	1,828,640	192,334	2,020,974	△124,574	1,896,400
セグメント 利益	20,452	1,470	54,777	76,700	81,644	158,344	△143,031	15,312

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「カウネット事業」「コールセンター事業」等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△143,031千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産における減損損失)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自2025年4月1日至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結損益計 算書計上額 (注)3
	ウェルネス 事業	クリエイシ ョン事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高								
外部顧客へ の売上高	1,955,824	25,193	84,041	2,065,058	245,070	2,310,128	—	2,310,128
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	14,187	—	—	14,187	133,892	148,079	△148,079	—
計	1,970,011	25,193	84,041	2,079,246	378,962	2,458,208	△148,079	2,310,128
セグメント 利益又は損 失(△)	△38,688	71	55,785	17,168	86,512	103,681	△179,817	△76,135

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「カウネット事業」「コールセンター事業」等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△179,817千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産における減損損失)

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。